



NPO 金沢杜の里 NEWS

2025.7 No.50



金沢市若松町3丁目鈴懸坂

杜の里の街とともに



金沢市立杜の里小学校

教頭 坪内 真弓

四月に杜の里小学校に赴任してまいりました。久しぶりにこの地域を見渡し、随分大きく変貌を遂げたなあと感じました。というのも、約二十五年前も山側環状線は私の通勤経路でした。当時は卯辰トンネルが開通したばかりで、トンネルを抜けると大きな広い道路がまっすぐに伸びていました。金沢大学の足元に位置するこの街は、あれから浅野川と美しい山々の自然との調和を保ちつつ、勢い良く発展し、賑わいを増していきました。

毎日、校舎内を歩いていると、校舎の造りに様々な工夫が凝らされることに気付きます。温もりを感じる木目の教室、ほっと一息つける読書コーナー、緑化テラス、芝生広場、ウッドデッキ、屋上プールなどは、杜の里の緑豊かな自然環境に溶け込んでいるようです。窓が大きく開かれた教室は、防犯機能も兼ね備えています。

また、育友会や地域の各団体等、地域の皆様とお会いする中で、子ども達の健やかな成長を願い、活発な活動を続けておられることも知りました。本当に頭が下がる思いです。

今年度より「新金沢型学校教育モデル」がスタートしました。新しい時代が求める自学・共創の学びを通じて、「自分」と「みんな」で新しい価値や最適解を見出す「創造力」を育みます。杜の里小学校でも、職員が一丸となり、教育活動を展開していきます。地域の皆様には、未来を創る子ども達のためにお力添えをいただきますよう、よろしくお願ひいたします。

令和7年度 通常総会

- 1 日 時 令和7年6月8日（日）9時30分
- 2 場 所 金沢市立杜の里児童館
- 3 出席者 77名（うち委任者55名）
- 4 審議事項
 - (1)議案第1号 令和6年度事業報告及び収支決算に関する件
 - (2)議案第2号 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）に関する件
 - (3)議案第3号 役員の退任及び新任に伴う選任の件



総会終了後、元金沢市消防局 水本朋宏氏の「安心して暮らせる地域へ～私の想い」について講演を開催しました。

令和7年度事業の実施事項

1. 特定非営利活動事業

事業名	事業方針	施策項目
調査・研究事業	事業活動の推進を図る委員会の充実及び地区計画に基づき区域内の建築確認申請に際し、緑化保全の事前審査を行います。また、人材の確保と事業活動の活性化のため、地域を主体に会員の拡大を図ります。	・委員会の開催 ・地区計画申請の事前審査 ・会員の勧奨 ・祭りギフト券の交付
啓発と普及を図る事業	まちづくり活動などの情報について、年3回「ニュース（広報誌）」を発行し、会員、地域住民等へ発信し、啓発と普及を図ります。また、ホームページでまちづくり活動を団体等へ情報を発信し、当法人の情報公開の基盤の強化を図ります。	・ニュース（広報誌）の発行 ・ホームページによる情報公開
地域間交流と交流連携推進事業	まちづくりの基盤となるコミュニティづくりを推進するため、地域住民等と協力した「まちおこしイベント」の活動等を支援し、人々の交流と健康で賑わいと活気あふれる街づくりを推進します。	・若松三大まつりの支援 ・小学校等のイベント支援 ・自主防災組織の支援
環境保全・花いっぱい運動事業	大学門前街の自然環境の維持と住民の緑化意識を高めるため、地域住民と協働で「花いっぱい運動」事業を展開し、地域の緑化推進に努めます。また、地域美化運動推進事業として、自然環境を将来にわたり「ふるさと」の景観を残すため、里山の整備保全を推進します。	・花いっぱい運動の推進 ・セットバックの整備の推進 ・ホテルの育成活動の事業 ・幹線道路清掃活動の推進

2. その他の事業

事業名	事業方針	事業内容
まちづくり環境整備受託事業	住まいづくりを支援するため、私有地の除草作業等を受託します。	・有料受託事業
公共施設管理受託事業	緑地小公園の清掃・管理等を公共管理者から受託します。	

石引往来について②

こんな風だから棒で運び出す時などは、まるで蟻がきりぎりすでも擔（かつ・担ぐ）ぎ出す様な塩梅（あんばい）で、盛んといふよりもむしろ滑稽（こっけい）な位だったらう。でも、殿様の御威勢は恐ろしいもので、あんな大きな城郭見事に出来上がってしまった。」

「するとそのまた石を運び出す道が大変ですね。」

「さうだ、幅五間、長さおよそ三里といふ塵一つとどめない大道が戸室清水から、南原、戸室別所、戸室中山、しら山（城山）、長坂、ねば坂、砂坂を越え、今の田上橋の附近で浅野川を渡り、下馬、石引町を通過、おほかた峯づたひとはいへ谷を互り（わたり・渡り）、坂を越えてはるばるお城金澤まで延びてみたもので、其の頃戸室山へ登ると、その石引往来が峯から峯へ恰（あたか）も大白布をさらした様で、胸もすく位見事だったさうだ。」

「金澤の石引町といふ名も、そんな所からついたのですね。」

「さうだ、よく気がついたね。道雄はあのしら山を知ってゐるだらう。」

「大谷の上の方の山でせう。」

「さうだ、あそこは石の貯蔵所があったのだが、まだおぢいさんの子供の頃には、長持の様な大きな石や、石臼（いしうす）

のやうな形のなど大小数百の石がごろごろしてゐたのを覚えてゐる。」

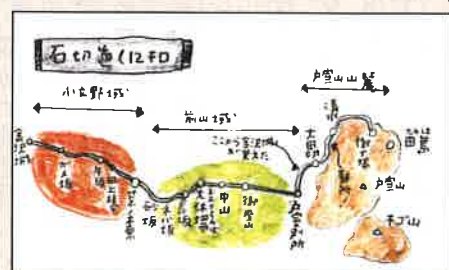
「どうしてそんな處（所）にたためて置いたのでせう。」

「石といふものはおいそれと、一時にたくさん切り出すわけにはゆかないものだから、平生からちゃんとあそこに用意しておいたのだ。そしてお城の修繕、その外いろいろの必要に応じて此處（ここ）から運んだのだ。戸室石はお城は勿論（もちろん）のこと、兼六公園にある大和武尊の銅像の臺石（うてないし・台石）や栄螺（さざえ）山の頂にある五重の塔を始め、公園だけでも、随分たくさん使つてある。此の次金澤へ行った時よく気をつけて見てお出で。」

おぢいさんのお話は盡（つ）きませんが、明晩は中納言干場の話をさせていただく約束をして、道雄は眠りにつきました。

以上が浅川村教育読本に掲載されています「石引往来」のお話です。

関戸 正彦



☆金沢杜の里NEWSはコンパクトながら、とても充実した内容のパンフです。今号の記事の中で「石引往来について①」がとても興味深く拝読しました。昔の石引の様子を聞くというのは羨ましい感じがします。昭和9年に発行された読本に載っていたので、自分の生まれた年に発行されたのだと感慨深いものがありました。

☆わが町探訪シリーズが楽しみです。とりわけ浅野川流域の歴史に興味を持っています。ありがとうございます。次号も待っています。

☆「金浦用水」の件で小学4年生の質問に真剣に向き合い莫大な文献を調べたり、地域の有識者の聞き取りなど、大変なご苦労に敬意を表します。「次号」も掲載いただくようですが、お体に気を付けて下さいね。ありがとうございます。

☆NPO杜の里のみなさま、いつもきれいな花をありがとうございます。夏の水やりなど大変なことだと思います。また、杜の里小学校の児童はどの子も会えば「こんにちは」と挨拶してくれます。気持ちがいいですね。

☆電子申請とっても便利です。ありがとうございます。

☆松尾館長のご挨拶で「慌てて大きくなつてもらわなくてもよい。大人は子どもの成長を身守ろう」というお考えに共感をします。また、石引往来や探訪シリーズ、郷土こぼれ話もとても勉強になりました。ありがとうございます。

☆早速のモバイルからの対応、ありがとうございます。今年の桜まつりは好天に恵まれ桜も咲き誇り何よりもご安堵のことと思います。表紙の浅野川沿いの桜並木も大きく立派に育ち、私たちの誇りです。いつも感謝しています。

☆郷土にまつわるエッセイ毎回楽しく拝読しています。知らないことがいろいろあり、住んでいることに、あらためて学ぶことができます。

☆もりの里は道路が広くとても最適でよく通ります。季節の木々、花々に心癒されます。これも皆さまの努力のたまものですね。これからもよろしく願います。

☆本号も楽しく読ませていただきました。表紙の満開の桜と浅野川、遠くに見える雪渓が美しい。いい街ですね。NPO金沢杜の里のみなさんが、1年を通して様々な取り組みで緑豊かな街づくりを進めてくださって、本当にありがたいです。おからだに気を付けてこれからもよろしく願います。

☆先日桜まつりに行きました。お店が出ていて、出し物もあって、初めて行ったけど思っていたより大きなお祭りだと思いました。お店では焼き芋を買いました。あったかくて甘くてほくほくで、おいしかったです。また来年もやってください。

☆浅野川添いの桜は満開の中で、新たな年度もスタートしました。NPO金沢杜の里の会員さんはじめ、役員の方々のお世話で3月末に鈴懸坂、もりの里1丁目交差点に、バンジージャンプのプラントが配置され、だんだん大きく咲きほこつてきました。昨今の物価高で憂鬱な気分のお花達がたくさん、励ましてくれます。これから夏場に向かい、水やりなどのお世話にも感謝です。これからも皆様、健康にご留意されますよう心から願っています。

☆せせらぎ水路のホタルも小学生の方々とともに、長期間のお世話があつて楽しめているのです。貴重な体験だと思います。ご苦労様です。

☆浅野川湖畔の桜満開の写真、本当にきれいですね。右後ろには雪のついた山が写り、「素敵な景色をありがとう」と思いました。美しい写真の下に、児童館長さんの優しい文章が載っていて、NPO金沢杜の里NEWSに出会えて、嬉しい気持ちです。☆新年度がスタートして、新一年生の可愛い姿もほほえましいです。通学路は色とりどりのお花がいっぱいです。お手入れを下さつてNPOの方々に本当に感謝しています。

わが町・探訪シリーズ31 浅野川を飛び越えた？ 旭町

『杜の里が開発される以前まで、浅野川から北側に飛び出して「旭町上中島・旭町下中島・旭町日」という地名があり、なぜ対岸に旭町があるのか子供の頃からの疑問でした。』

金沢城三御門と呼ばれる石川門、河北門、橋爪門の内、「石川」「河北」は加賀国の二つの郡名が由来です。823年(弘仁2年)に広大な越前国より「加賀」と「江沼」の二郡が割かれ「加賀国」が成立しました。後に北部の「加賀郡」は、手取川以北から浅野川以南に「石川郡」を設置。(一説によると当初、浅野川ではなく犀川以南だったともいわれています。)室町時代になり浅野川以北の加賀郡は、「加賀国の北郡」「賀北郡」「河北郡」と称されるようになりました。

浅野川中流域でも南側の牛坂(旭町)は石川郡、北側の若松、鈴見、田上は河北郡でした。今となつては、浅野川がかつて石川郡と河北郡の境界だったと知る人は、少ないかも知れません。

そこで冒頭の疑問、その答えは石川・河北両郡の境界が浅野川と定められた当時、川筋が大きく蛇行したその位置だったからと考えられます。長い年月の間に地震による隆起や、洪水による土砂の堆積等で河岸段丘を形成し、流れは牛坂村地内を貫通する形で、現在の位置になったと推測され

ます。江戸後期から明治初期の間に大規模な河川工事で堤防が築かれ固定されました。「洪水があった時の土地の修繕や上流からの流れ物は村が負担しなければならず、若松村が牛坂村との境界を整理するための替地を拒否した。」明治初期頃の逸聞が残されています。

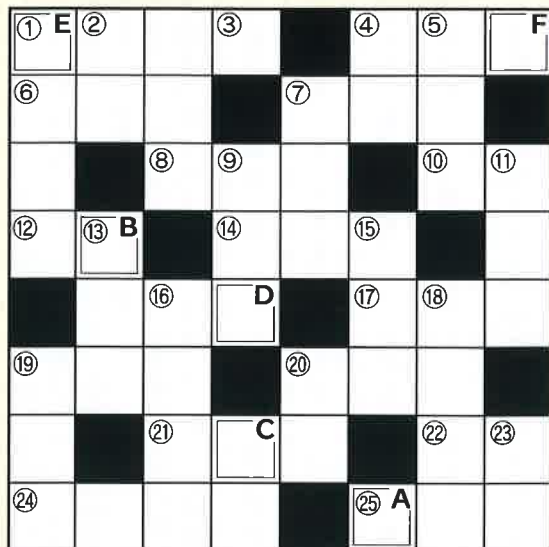
参考資料 石川県の地名 平凡社 加能郷土辞彙 金沢文化協会 他

郷土歴史研究家 安村 浩





クロスワードパズル



答 A B C D E F

ヒント*夏の海の催し

応募方法

◎郵便はがき又は二次元コードからフォームに
入力の上、解答と住所、氏名、感想等を記入し、
7月31日までに、次の所へお送りください。

〒920-1165 金沢市若松町3-281
NPO金沢市の里情報公開委員会係



ストップ特殊詐欺!!

最近増加している新たな詐欺手法です。
不審な電話やメールが来たら一人で判断
せず、家族や知人、警察に相談しましょう。

金融商品詐欺

架空、または価値の乏しい未公開株や高価
な物品について嘘の情報を提供し、購入す
れば儲かると信じさせて、その購入代金とし
て金銭等をだまし取る(脅し取る)手口です。

相手がコレを言ったら詐欺

A社の株は将来必ず価値が上がり儲か
ります。案内が届いた人だけ(あなただ
け)が購入できます。

「あなただけ」「必ず儲かる」といった
うまい話はない。

これで、だまされない!

- 聞き覚えのない会社からの未公開株
や社債などの投資話は「詐欺」を疑う。
- 投資等は正規の証券会社や金融機関
で取引をしましょう。

令和7年通常総会を終え、第2四半期に入りま
した。地域の皆さま、会員の皆さまのご支援、ご
協力をお願いし「花と緑の街づくり」「魅力ある
街づくり」に努めます。(編集後記)

タテのカギ

- ① 室町幕府第3代征夷大將軍名前
- ② 人体で背骨の下部
- ③ 一定の限られた場所
- ④ 直感的に感じ判断する能力
- ⑤ お茶を振る舞う日本伝統の行為
- ⑦ 復路の反対語
- ⑨ 天皇や君主が位につく言葉
- ⑪ 大きく育つこと
- ⑬ めでたいことや良いこと
- ⑮ はかないこの世
- ⑯ 使わなくなること
- ⑰ すべてのものを同じように扱う
- ⑲ 液体や気体を貯蔵する容器
- ⑳ 特定の人に強く惹かれること
- ㉓ 自分の考えや思い

ヨコのカギ

- ① 神奈川県の大府所在地
- ④ 優れた作品
- ⑥ 取るべき態度や進むべき方向を
示す方針
- ⑦ ものを言う時の声
- ⑧ 他へ移し送る
- ⑩ 本当でないこと
- ⑫ 2つ揃っていること
- ⑭ 心も身体も苦しみ疲れること
- ⑰ 正しいと思ったことは、どこまで
もやり遂げようとする強い心
- ⑲ 物を貸す
- ⑳ 人を雇う
- ㉑ 厚みが少ないこと
- ㉒ 甲、乙、〇
- ㉔ 靴についているもの
- ㉕ 始まること

◎50号の正解者の中から抽選で当
選者15名様に粗品を8月上旬に
発送します。

◎50号の解答は、11月発行の51
号に掲載します。

◎49号の解答は「サクラマツリ」で
した。



49号の
答え

郷土こぼれ話 鈴見のワダ用水②

「金浦用水は鈴見まで流れていた」と初回で書きましたが、鈴見
はこの用水を「ワダ用水」といい、平成7年頃まで鈴見の平野部に
存在していました。本来のワダ用水は消滅しましたが、その一部を
「鈴見しょうぶ公園」から見るができます。「ワダ用水」の「ワダ」
の語源は、河岸段丘の崖地(高6.5m)が入り曲がっており、漢字は
「曲」で、読みは「ワダ」でした。ワダの西隣は三日月形の銀コウと
いう平地(上中島)で、二つは若松と田上の共通の字名でした。昔
から金浦用水とワダ用水の合流点はワダですが、現在の金浦用水
も上若松(中瀬集落)から、「イオンもりの里店」の南側道路(暗渠)
を通り、かつてのワダで浅野川と合流しています。

「ワダ用水築造」の難関は、ワダの下流165m地点の「フチの高」
(若松はフチのソラ)でした。ここは浅野川の川原に突き出た段丘
だったため、高さ6.5mの崖地に、長さ約20m、幅約90cm、高さは
150cmほどの隧道を貫通させていました。隧道内は地形に合わせて
曲線に掘削されていたと聞いています。鈴見は上若松地内の
隧道部分の「フチの高」を所有地としていましたが、隧道出口の9坪
ほどの平地(沖積地)も上若松から買い上げ、約5mの石垣で囲み、
水車小屋とポンプ小屋を建てていました。ワダ用水の水量が少ない
時は、戦前は水車で用水に汲み上げ、戦後は螺旋(らせん)ポンプ
の時もありましたが、電動ポンプは長いホースが使用できるため、
時々変わる浅野川の流れにも楽に対応できたと聞いています。

前田藩は「鈴見のワダ用水」を利用し、幕末の1853年(嘉永6)
12月に水車を動力として大砲・銃砲の鑄造場を造りますが1870
年(明治3)に焼失し、寿命は15年でした。当時の鈴見鑄造場図時
の「鈴見鑄造場図」によると、鈴見橋の東200m先の突き当たりの
すそ野一帯が鑄造場(総面積6800坪)で、下段(水田地帯)の
建物の中に分水させた用水を流し、建物を出ると、再びワダ用水に
合流させていたことが分かります。

藩はワダ用水を「鑄造場用水」として安定した流水を引き込む
必要があり、浅野川に堰(せき)を造って取水していた可能性があり
ます。理由として、ワダの約220m上流の堤防に切れ目(上中島の
中ほど)があり、ここにも昭和40年頃まで鈴見が管理するワダ用水
の取入れ口がありました。(次回へ)

田上町 亀田輝之